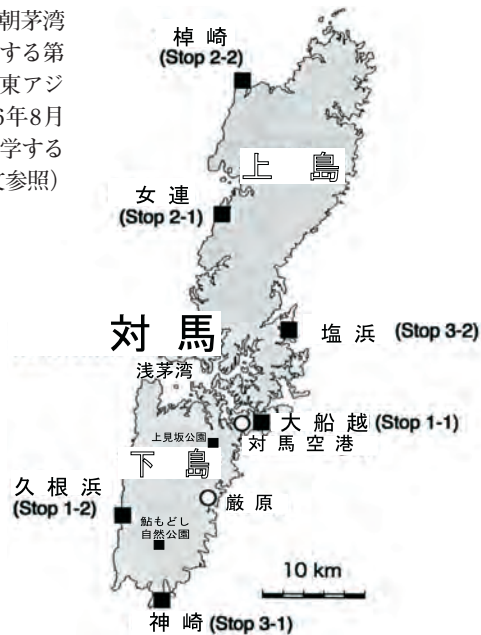


国境の島，対馬の対州層群を訪ねて

< 徳 橋 秀 一¹⁾ >

国境の島 対馬の第三系対州層群の代表的堆積相 (1)

韓国と九州の間に横たわる国境の島対馬は、典型的なリアス式海岸を呈する朝茅湾を挟んで、北部の上島、南部の下島から主にできています。対馬の大部分を構成する第三紀層の対州層群には、日本海拡大期を含む日本海の地史が記録されている。東アジアで初めて福岡で開催された第17回国際堆積学会議 (ISC2006 Fukuoka: 2006年8月27日~9月1日) 終了後に実施された対馬巡検 (FE-B11) において、対州層群を見学する機会を得たので、その代表的堆積相を紹介する。
(詳細は本文参照)



(A)
あそうわん
浅茅湾



(B)
おおふなこし
Stop1-1. 大船越
堆積相：泥岩優勢な砂岩泥岩互層が卓越する
斜面堆積物
層準：対州層群中部層

(C)
くねはま
Stop1-2. 久根浜
堆積相：上方厚層(粗粒)化サイクル
から成るデルタ堆積物
層準：対州層群下部層



国境の島 対馬の第三系対州層群の代表的堆積相 (2)

(A)



うなつら
Stop2-1. 女連

堆積相：斜面環境下の海底地すべり堆積物 層準：対州層群中部層の下部

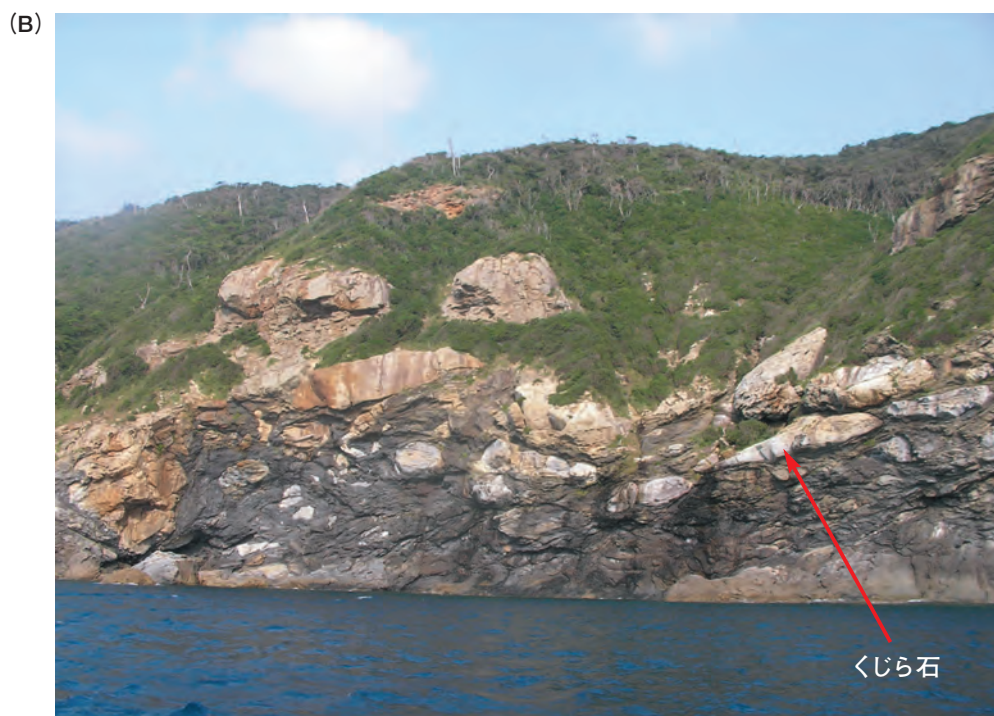
(B)



きおぎき
Stop2-2. 棹崎

堆積相：斜面～堆積盆底の海底チャンネル・レビー堆積物 層準：対州層群下部層・中部層の境界

国境の島 対馬の第三系対州層群の代表的堆積相 (3)



Stop3-1. こうざき神崎

堆積相：デルタフロント堆積物の崩落による大規模スランプ堆積物 層準：対州層群下部層
(A) 黒色泥岩中に大小のブロック(主に砂岩)が浮いているように散在している(神崎灯台西側).
(B) “くじら石” などとよばれ親しまれている砂岩ブロックもある(神崎灯台東側).

国境の島 対馬の第三系対州層群の代表的堆積相 (4)



Stop3-2. 塩浜^{しおはま}

堆積相：前進性デルタにおける上方厚層（粗粒）化サクセッション 層準：対州層群上部層

(A) 上方厚層（粗粒）化サクセッションの下部。

(B) 上方厚層（粗粒）化サクセッションの上部。赤色葉理の発達した厚層理砂岩で特徴づけられる。